

大阪狭山市立図書館

〒589-0021 大阪府大阪狭山市今熊1丁目106番地

TEL:072-366-0071 FAX:072-366-0052

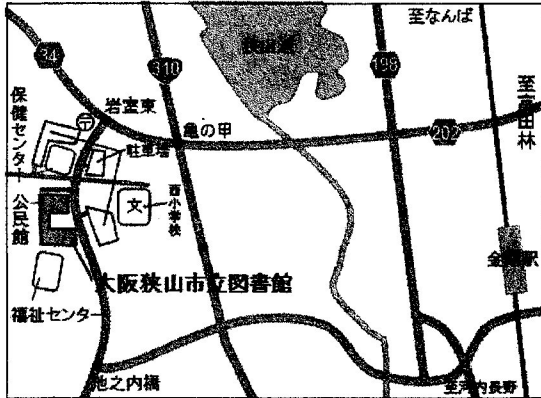
ホームページ <http://www4.city.osakasayama.osaka.jp>

携帯HP <http://www4.city.osakasayama.osaka.jp/opac/wopc/pc/mSrv>

スマートフォンHP <http://www4.city.osakasayama.osaka.jp/opac/sp>



◎交通案内

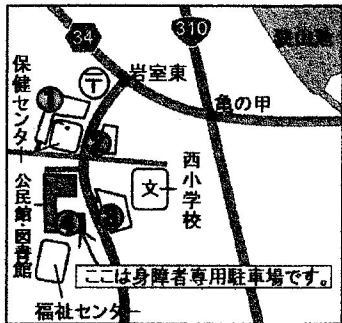


電車・バスでお越しになる場合
南海高野線「金剛」駅西口下車、
南海バス「泉ヶ丘駅」行き(50系統)
「狭山西小学校前」にて下車
(駅より約10分)

市内循環バスをご利用の場合
「福祉センター前」にて下車

お車でお越しになる場合
国道310号線「亀の甲」交差点を
西に曲がり、「岩室東」交差点を
南下してすぐ

◎駐車場のご利用について



いずれも無料です。①②③の駐車場は時間外は施錠
しますのでご利用いただけません。

場所	収容台数	利用時間
①保健センター	約75台	8:30~17:30
②保健センター向かい	25台	8:30~21:30
③図書館向かい	59台	8:30~21:30
④図書館下(身障者用)	3台	8:30~21:30

※自転車・オートバイでお越しの際は、図書館下の駐輪場をご利用ください。

※駐車場スペースには限りがございます。なるべく公共交通機関をご利用ください。

大阪狭山市立図書館

図書館利用案内

2016.01.05発行

- 開館時間 : 午前9時~午後8時
- 休館日 : 毎月末日(土日祝にあたる日は開館します)
年末年始、特別整理期間
- 貸出冊数 : ひとり10冊
- 貸出期間 : 2週間



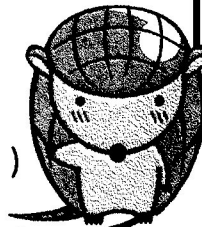
はじめて図書館を利用される方へ

大阪狭山市・八尾市・柏原市・東大阪市・富田林市・
河内長野市・松原市・羽曳野市・藤井寺市・大阪市・
太子町・河南町・千早赤阪村 にお住まいの方なら、
どなたでも利用できます。

(住所・氏名を確認できるものをお持ちください。)

上記以外で、大阪狭山市内に通勤・通学
されている方も利用できます。

(登録時に 在勤証明書や学生証をご提示ください。)



サービス案内



◎ パスワード

館内検索機や図書館ホームページから貸出延長、本の予約、貸出や予約状況の確認、メールアドレスやパスワードの変更ができます。
パスワードの登録は、図書館カウンターへお申し込みください。

◎ 予約

借りたい本が貸出中のときは、予約ができます。

①図書館カウンター ②図書館ホームページ ③館内検索機のいずれかでお申し込みください。
(②③の場合、事前にパスワードの登録が必要です)

◎ リクエスト

所蔵していない本は、リクエストができます。

図書館カウンターまでお申し込みください。
(リクエストはご希望に添えないことがあります)

※予約・リクエスト合わせて、おひとり30冊までです。

◎ 複写(コピー)サービス(有料)

図書館所蔵の資料に限り、著作権法の範囲内で複写ができます。
「資料複写申込書」に必要事項を記入し、カウンターまでお申し込みください。(セルフサービス)

※料金は、白黒1枚10円、カラー1枚50円です。

◎ 図書宅配サービス(有料)

「図書利用カード」をお持ちの方に、郵送にて本をご自宅へ宅配するサービスを提供しています。

障がい者手帳をお持ちの方は料金の減免があります。

詳しくは図書館までお問い合わせください。

図書館 Q & A



◎ 貸出延長について

パスワードをお持ちの方は、インターネットから延長ができます。
お持ちでない方は、図書館カウンターに貸出延長をお申し出いただくか、電話でご連絡ください。
1回に限り、2週間の貸出延長ができます。

◎ 返却について

閉館時は、返却カウンターにお返しく下さい。
図書館が閉まっているときは、玄関横の返却ポストにお返しく下さい。
また、金剛駅・大阪狭山市駅にも返却ポストを設置していますのでご利用ください。

※他の図書館から借り受けている資料や、CD-ROM など
壊れやすい資料は、必ず図書館カウンターにお返しく下さい。

◎ 図書利用カードを忘れたとき

記載台にある用紙に必要事項を記入して、借りたい本と一緒に図書館カウンターにお持ちください。

◎ 図書利用カードをなくしたとき

◎ 住所・氏名・電話番号が変わったとき

記載台にある再発行届、または変更届に必要事項を記入して、図書館カウンターへお申し込みください。

◎ 本が読みづらい方へ(障がい者サービス)

本の文字が読みづらい方のための本や録音図書があります。
詳しくは『活字を見ることが困難な方への利用案内』をご覧ください。